

2月の研究会は、インドの詩人タゴールの生誕150周年を記念してイベントを開催しました。

「タゴール、寛方と三溪のつながり」

— タゴール生誕150年記念講話会 —

主催：原三溪市民研究会

協力：横浜美術館

会場：横浜美術館円形フォーラム

日時：2011年2月12日（土）14:00～16:00（交流・懇親会 16:10～17:30）

◆ スワームィー・メダサーナンダ ご講話

「スワームィー・ヴィヴェーカーナンダとタゴールと日本のつながり」

◆ 河合力 ご講話

「荒井寛方とタゴールと三溪のつながり」



スワームィー・メダサーナンダ師



河合力氏



交流・懇親会にて

スワームィー・メダサーナンダ師は神奈川県逗子市にある日本ヴェーダーンタ協会（ラーマクリシュナ・ミッション日本支部）の会長でいらっしゃいます。まずは、1916（大正5）年の夏に三溪園に滞在したことで知られているインドの詩人タゴール（1861-1941）と、インドで有名な宗教家で1893（明治26）年来日したことがあるスワームィー・ヴィヴェーカーナンダ（1863-1902）、そして日本の美術界で活躍し1901（明治34）年にインドを訪れたことがある岡倉天心についてお話をいただきました。そして、現代の日本では心の病や自殺が多いことなどに触れながら霊的なことが大切だとして、タゴールが残したメッセージを説いてくださいました。

河合力氏は画家の荒井寛方のお孫さんでいらっしゃいます。タゴールから荒井寛方に宛てられた手紙をベンガル語で朗読することから始まり、インドの日本学院にあるはずの下村観山《弱法師》の荒井寛方による模写は見られなかったが同地にある別の模写図の保存状況がよくなかったことなど、独自の資料を交えながらお話をいただきました。

◇ 交流・懇親会

横浜美術館のカフェ小倉山にて交流・懇親会を開催しました。今回は原三溪市民研究会の会員のほかに、岡倉天心研究会、日本ヴェーダーンタ協会、寛方・タゴール会、タゴール生誕150年を祝う会、大倉精神文化研究所、出版社の北星社にご所属の方々にご参加いただき、親睦を深めることができました。